

学校に子どもたちの笑顔が戻ってきました

「今日も計画的に勉強ができました。コロナのせいで学校に行けないので、家があきてきました。一日でも早く学校に行きたいです。」「コロナでひのまつりがなくなったので、いえで おまつりをしました。けいひんをつくるのが たいへんだったけど おまつりが もっとたのしかったので うれしかったです。」「わたしは、今日マスク作りをしました。2枚目は、ばあばといっしょにしました。わたしが赤ちゃんの時に着ていた服でした。糸で最後にくっつけるのが、一番むずかしかったです。でも、一回やると はまってしまいました。」（休校中の児童の日記（抜粋）から）

来る日も来る日も家で過ごす生活は、育ち盛りの子にとってどんなに窮屈で退屈だったことでしょう。保護者の皆様、ご家族の皆様には、ご多用の中、貴重な「おうちじかん」の工夫をしたり、お子さんの家庭学習への支援をしたりしていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、学校での子どもはどんな様子だと思いますか？久しぶりの学校ですので、だらけているのではないかと心配されているかもしれませんが、子どもたちはよい姿勢で集中して話を聞いています。ノートやプリントの文字も大変きれいな子どもが多いです。この日を待ち焦がれていた思いが前向きな態度に現れているように感じます。一方、「学校」という場合は、自分の力以上の力が発揮できる、かけがえのない環境でもあります。「学校という集団の力は、やっぱりすごいと思った」と話す担任もいました。教職員が丸となって、子どもが、「学校っていいな」と実感できる学校生活や授業を目指したいと思います。

「学校の新しい生活様式」を実践しながら教育活動をおこないます

可能な限り感染リスクを減らすため、学校では、「命を守る3つの合言葉」に気をつけ、安心・安全に努めたいと思います。ご家庭でのお子さんへの指導とご協力をお願いします。

登校前の体調チェック

1つでも当てはまる場合は欠席を

- ☐ 平熱を超える発熱
- ☐ せきやのどの痛みなどの風邪の症状
- ☐ だるさや息苦しさ
- ☐ 臭覚や味覚の異常
- ☐ 体が重く感じる、疲れやすいなど

感染防止のための毎日の持ち物

- ・清潔なハンカチ・タオル
- ・ティッシュ
- ・マスク
- ・マスクをはずしたときに入れる清潔なビニール袋や布袋
- ・水とう
- ・エプロン（給食当番のとき）



いのち まも あいことば じぶん あいて たいせつ 命を守る3つの合言葉～自分も相手も大切に～

①手洗い

②マスク

③3密防止 休み時間もソーシャルディスタンス

- ・集まらない・体や手を触らない・手が届く距離でしゃべらない（3密防止）
- ・登校したら、教室に入る前に手を消毒
- ・咳エチケットを守ろう
- ・水道と男子トイレ（小便器）は1つ飛ばして使おう
- ・口をゆすいだときは、かがんでベッ！
- ・トイレは3人まで。4人目からはろう下の線まで待つ
- ・人の机や物を触らない



手洗いの6つのタイミング

外から教室に入るとき



咳やくしゃみ、鼻をかんだとき



給食（昼食）の前



掃除の後



トイレの後



共有のものを触ったとき



児童への指導

学校生活の中の一歩の感染リスクは、休み時間や登下校などの、大人の目が届かないところでの児童の行動です。学校でも新型コロナウイルス感染症を正しく理解し、感染のリスクを判断したりこれを避ける行動をとったりできるように改めて指導しますが、ご家庭でも、絶えず指導や声かけをお願いします。



当分の授業方法などについて

- ・教室の机と机の間隔を1 m以上離します。
- ・前を向いての授業スタイルとします。
- ・教職員も児童もマスクを着用して授業を実施します。
- ・当分感染リスクの高い学習活動は行いません。例えば、
 - ①狭い空間での歌唱やリコーダー奏など（音楽科）
 - ②調理などの実習（家庭科）
 - ③密集したり近距離で接触したりする運動（体育科）
 - ④長時間、密集することになる集会などの活動
- ・図書室を利用するときも、混み合わないようにする他、利用する前後に手洗いをするようにします。

体育の学習

マスクを着用して運動した場合、十分な呼吸ができなくなるリスクや熱中症になるリスクが指摘されていますので、児童と児童の間隔を2 m以上確保しながら、運動の内容や天候などを考慮してマスクをはずすようにします。ただし、

- ・マスクを希望する児童の着用は認めます。
- ・見学の児童はマスクを着用します。
- ・教師は、原則としてマスクを着用します。
- ・こまめな水分補給を行います。体育のある日は、お茶をたっぷり持たせてください。

給食「学校給食衛生管理基準」に基づく

- ・当番は自分のエプロンを使用します。
- ・準備のときは、全員が家から持ってきたマスクと三角巾を身に付けます。
- ・給食前、給食後の配膳台の消毒を教職員が行います。
- ・食事の前後の手洗いを徹底します。
- ・配食を行う児童や教職員の健康状態を確認します。
- ・机は向かい合わせにせず、会話はできるだけ控えるようにします。

バス利用時

- ・必ずマスクを着用します。
- ・できるだけ会話を控えるようにします。
- ・学校に到着したら、昇降口で手指の消毒をします。
- ・顔をできるだけ触らないようにします。
- ・咳エチケットを守ります。

近江鉄道バス・湖国バスの対応

- ・車内換気（窓を開けての運行、換気扇の使用、折り返し地点でのドアを開けての換気）
- ・手すり、つり革の消毒（折り返し地点にて）
- ・運転手のマスク着用、途中の手洗いの徹底
- ・運転手のすぐ後ろの座席を使用禁止に

休み時間

- ・水道と男子トイレ（小便器）は1つ飛ばしで使うようにします。
- ・トイレは3人まで。4人目からは廊下の線で待つようにします。
- ・口をゆすいだとき、かがんで吐き出すようにします。



男子トイレは1つ飛ばしで使います



手洗い場は1つ飛ばしで使います

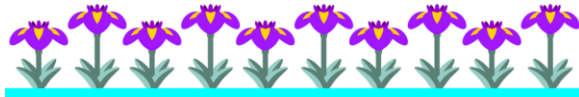
心のケアにも努めます

新しい学年への緊張、初めての経験に対する不安、長い休校中の心の不調など、戸惑いや不安を抱える方も多いと思います。そこで、学校では健康観察や児童観察で心のサインを見逃さないようにするとともに、次のような相談の機会を設けます。

◇6月後半、担任による子ども一人ひとりとの教育相談をおこないます。

◇4月の家庭訪問と、それに代わる教育相談を相次いで中止しましたので、6月以降、希望される場合は担任と個別にお話しいただく時間をつくります。**希望される方は、担任までご連絡**ください。

◇全員を対象に、1学期末の**8月4日(火)、5日(水)、6日(木)に個別懇談**を行います（夏季休業短縮に伴い、例年より時期を遅らせました）。



消毒液をいただきました

学校再開に合わせて、校区である日野町第二工業団地内の株式会社カンパ様より、手指用の消毒液を頂戴しました。この状態がいつまで続くかわかりませんので、この上ない贈り物です。

本校の各教室には、2年前に教育後援会で買っていただいた加湿器がありますが、その中に入れて使うと除菌効果もあるそうです。真夏に授業をするとき、窓を開けての換気が十分にできるか心配でしたので、空間除菌にも使わせていただこうと思います。

（文責：校長 北崎 あゆみ）

※参考資料「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」 （文科省）

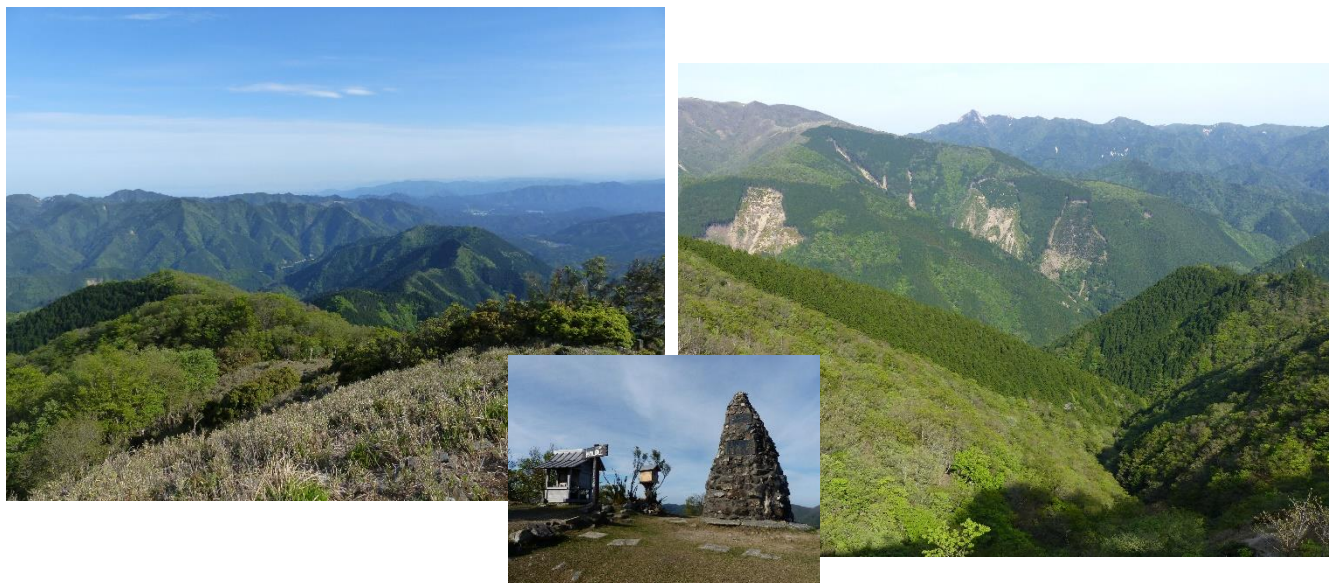


職員室のビニールカーテン



桜谷自然だより5月②「新緑の山をゆけば」(竜王山～綿向山)

日野町のシンボル、綿向山も5月に入り、新緑の季節です。この山には濃い緑の杉・檜（人工林）と、黄緑色の葉がまぶしい、ブナをはじめとした広葉樹（自然林）がバランスよく生育しており、山頂から見た山々の景色も様々ですね。



山の花々も今が旬。綿向山の初夏を彩るのは
3つのピンクの花たち

★尾根筋のシャクナゲ↓

★林間のヤマツツジ↓

★林床のイワカガミ↓



山では思わぬ出会いもありました。



○松の木にとまり、
「ムゼ～ムゼ～」と鳴く
ハルゼミ



○7合目のブナ林で美しい声で
さえずるキビタキ



○竜王山の山頂で飛び回っていた
スミナガシ

※5月15日号に続き、井野教諭による「桜谷自然だより」です。楽しんでご覧ください。